

入院診療計画書(腹腔鏡下胆嚢摘出術を受ける患者様へ)

ID番号

@PATIENTID

氏名

@PATIENTNAME

様

症状

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

病名(他に考える病名)

担当医師

@USERNAME

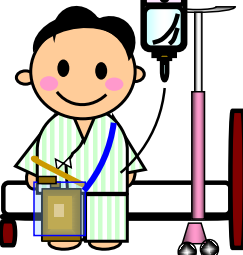
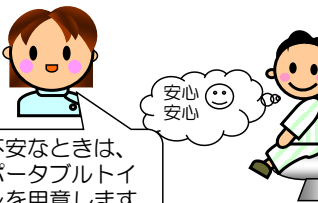
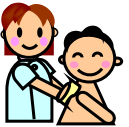
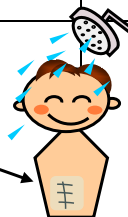
印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名

@SYSDATE

月日	入院日 (/)	術前日 (/)	手術日(/)		術翌日 (/)	術後2日目 (/)	術後3~4日目 (/)~(/)	術後5日~7日目 (/)~(/) 退院日
			術前	術後				
経過	 入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください	検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。術前準備を行います	()時に手術室へ移動します	術後は病室に帰ります	医師の許可が出たら水分・食事が開始になります	注意点を守りながら、少しずつ、日常生活のリズムを戻していきましょう		退院
目標	心身が手術を受けられる状態である	 術前日の流れ 夕食まで食事可 夕食以降水分のみ可	朝起きてから手術に行くまでの流れ 6時まで水分可 6時~絶飲食	手術が安全、安楽に受けられる痛みのコントロールができています			退院が可能である	外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。
検査	手術に必要な検査をします			術後は、一般病棟に移動します	採血・レントゲン写真	採血・レントゲン写真	必要に応じて採血・レントゲン写真	
処置	基本的に、処置はありません  必ず禁煙して下さいね	□おなかのむだ毛を剃ります おへそのそうじをします □入浴 □14時 下剤を服用します □腕に名前を書きます(医師) □手術の準備品を確認します □21時 下剤を服用します	□指示された内服薬があれば、服用してください □病院のパジャマに着替えてください □弾性ストッキングをはいてください 弾性ストッキングは看護師側で用意します □化粧やマニキュアを落としてください □義歯、メガネ、時計、指輪、ヘアピン、などを外してください。重品があれば、ご家族へお渡ししてください。	 点滴 酸素吸入 心電図モニター 尿の袋 胃の管	酸素 心電図モニター 尿の管 胃の管が抜けます  立ちましょう 必要に応じて、ポータブルトイレや尿器を用意します	痛み止めの管が抜けます 創部のドレーンが抜けます  どんどん歩きましょう 出てきた食事は、食べられる分だけ	以下の症状があるときは受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時 ・排便、排ガスがなく、お腹の張りが続いている時 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時 ・高熱が出たり微熱が何日も続くような時 わからない点、疑問点がありましたら、何でも医師や看護師にご相談ください。	
注射	基本的に、注射はありません	 不安なときは、ポータブルトイレを用意します					薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。緩下剤の内服については、便の回数や性状を見て調節して下さい。心配なときは医師に相談して下さい。	退院時、必要な分のお薬が処方されます
内服	飲んでいるお薬はすべて看護師にお知らせください。 			術翌日まで、4時間ごとに検温に伺います				職場復帰、旅行などは医師に相談して下さい
食事					昼：重湯 夕：全粥			
清潔行動	活動、入浴に制限はありません  スーフル呼吸訓練行って下さい			痛み止めについて… ・点滴から痛み止めを注入する場合 ・背中に管を入れて痛み止めを注入する場合 いずれにしても、痛いときは我慢せずに教えてください	 シャワーの許可が出るまで、からだを拭きます	ドレーンが抜けたらシャワー可 傷の部分はこすらず、シャワーで流す程度にして下さい  入浴のときは…熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。		
説明	病棟での日常生活をご案内します 手術の予定を説明します	麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります	ご家族の方へ病棟フロアロビーでお待ち下さい 離れるときは、待機場所をお知らせ下さい					□次回予約票が渡されます □リストバンドを外します

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名： 続柄：

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号 (No.56-1) 承認月日 (平成16年11月9日)